

2009年11月21日 地域自然情報研究会

日時:9月20日(日) 14:00～15:30

会場:環境情報学習センター(エコギャラリー新宿)

「遺伝的多様性を守るための空間ユニットの設定」

ーESU・MU の実践と課題ー

佐伯 いく代(首都大学東京牧野標本館)

要旨

野生動植物の保全に取り組む際、遺伝子レベルで起こっている事象に対し、私たちは何をどこまで知り、どう関与すべきなのでしょう。今回の発表では、遺伝的多様性を守るための空間ユニット[ESU(進化的重要単位)、MU(管理単位)]の設定を中心にご紹介します。これらの空間ユニットは、遺伝子レベルの多様性を保全するための具体方策の一つとして、近年、さかんに研究が進められています。私自身が絶滅危惧植物のユニット設定に取り組んだ経験や、国内外の研究状況を紹介し、今後の課題について至極個人的な意見(!?)を述べさせていただければと思っています。また、遺伝的多様性のデータと空間解析を組み合わせる優先的に保護すべきエリアを探索したり、気候や地形などの景観要素との関係を調べた事例にも触れる。